

主催事業『自然体験活動教職員講習会』 実施報告

村の中に吹く風が新緑を揺らす中、1泊2日の自然体験活動教職員講習会が開催されました。講師は神奈川県学校野外活動研究会の皆様です。

5月19日（土） 晴れ

★開講式・であいのゲーム★

まずは、みんなでアイスブレイク（緊張をほぐす）のゲーム。手遊びや歌、ジャンケンなどみんなで楽しくレクリエーションを体験する中で、様々な展開方法も学びました。



★選択プログラム1★

「キャンプファイヤーのノウハウ」では、ふれあいの村でのキャンプファイヤーの展開方法を講師の方が解説してくれました。参加者の多くは宿泊体験学習の担当者ということもあり、安全な薪の組み方や点火方法など、真剣にお話を聞いていました。



「クラスで使えるネイチャーウォッチング」では、虫メガネと双眼鏡をぶら下げて村内の草花を使い、いかに子どもたちの心に残すか？を切り口に、さまざまな自然観察の方法を展開しました。この季節ならではの草花を、じっくりと細かいところまで観察し、5月のふれあいの村の自然を満喫しました。

★野外炊事★

夕飯は「カレーライス」と「うどん」。そして、段ボールスモーカーで作る「くんせい」。自分たちで起こした火で調理をしました。カレーライスは慣れた手つきで作っていましたが、普段作らない手づくりうどんに苦戦。しかし、さすが先生。みんな協力し、おいしいご飯を作ることができました。



★ナイトプログラムI★【キャンプファイヤー】

夜のキャンプファイヤーは、エールマスターの講師の方が行うゲームやレクリエーションを楽しみました。また、各班ごとにアイデアと熱い想いが盛り沢山のスタンプを披露しました。初めてキャンプファイヤーを体験される参加者もいましたが、楽しく進行する雰囲気味わう事ができたのではないのでしょうか。



★ナイトプログラムⅡ★【たのしくすすめるグループワーク】



キャンプファイヤーが終わった後、多目的ホールに移動して、カードとブロックを使い、グループワークを行いました。与えられたカードの情報を言葉で仲間に伝え、班の情報を整理し、正しくブロックを組んでいく課題です。言語によるコミュニケーションの方法や難しさを実感しながら、グループで協力をして課題をクリアしていく達成感を味わいました。

5月20日（日） 晴れ

★朝のつどい★

朝のつどいでは、朝の体操を兼ねたゲームをおこないました。参加者のあいさつでは、1日目のプログラム毎に1人ずつ話してもらい、学んだことや感じたことを発表してくれました。まだ半分寝ている頭と体のリフレッシュはできたでしょうか。

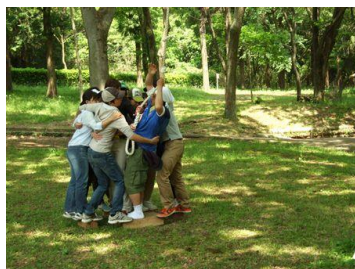


★選択プログラム2★

「HOW TO エールマスター」では、昨晚のキャンプファイヤーを振り返りながら、エールマスターとしての心構えや、ゲームや歌の指導方法を学びました。そのあと、各班に分かれ、実践に向けて練習をしました。「マッチョマン！フー！！」とゲームだからこそできるちょっと恥ずかしいポーズをとる参加者の姿も。タベ実践したキャンプファイヤーで感じた「楽しさ」を、生徒たちに伝えるため、頑張っていました。



「学級経営で活かせるプロジェクトアドベンチャーの手法」では、最初は表情が固かった先生たちですが、終わるころには表情がほぐれていました。小さいボードに12人全員が乗ったり、ターザンロープで対岸に渡ったりと与えられた難しい課題をグループの力でクリアしていく中で、支え合うことや協力し合うことの大事さを実感してもらえたようです。



★知りたいことコーナー・ふりかえり・閉講式★

知りたいことコーナーでは、プログラムで使った道具（ルーペ、衣装や備品）、参考書などを展示。また、各プログラムの講師に直接質問や相談ができるコーナーも設けました。参加者たちは宿泊体験学習に向けて、より実践的なお話ができたのではないのでしょうか。



ふりかえりではこの1泊2日で学んだこと、感じた事をグループで共有していました。

お忙しい中、ご参加いただいた皆様、講師でお越しいただいた野研の皆様、ありがとうございました。この講習会で得たものが、子どもたちの素敵な自然体験活動につながると思います。（葉）